

# 災害時の母子支援の実際について



中根直子氏 日本赤十字医療センター



中根様の防災リュック中身を教えてくださいました

水、薬、羊羹、ラジオライト、ウェットティッシュ、ナプキン、マスク、応急手当セット、ビニール手袋、エマージェンシーシート、ホッカイロ、45ℓのごみ袋、おやつ、文庫本、帽子、スリッパ、スティックコーヒー、スープ、爪切りなど



加藤康介氏 神奈川県保健福祉局

地域の拠点として母子支援をどのようにしていくのか、特に初期対応、トリアージ等への参考になることが多くありました。

自分たちの課題として取り組むことであり、県の体制も知ることができ良かった。

参加者アンケートより



東日本大震災からもうすぐ3年が経とうとしています。

今回は日本赤十字医療センター看護師長の中根直子氏を講師に迎え、災害時の母子支援の実際についてお話を伺いました。

震災当時の宮城県石巻の状況や、石巻日赤での母子の状況とその支援活動等について、阪神淡路大震災との比較や、災害時母子支援で重要と感じたポイントなど、現場での経験をふまえたお話を伺うことができました。

また後半は神奈川県の災害時医療救護体制についてご講演を頂きました。

SNSの活用等、災害時の情報収集・発信についてもお話くださいました。

神奈川県助産師会では現在、神奈川県との災害時協定を結ぶ方向で話が進んでおり、災害時地域に貢献できるよう今後も取り組んでいきたいと考えています。(災害対策委員より)

次回 12/7 (日) 13:00-16:00  
災害時における助産力 UP のための研修～災害時支援への自信をつけよう!!～